

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/01/12

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.08	0.01
JPY/THB	0.2416	0.0009
USD/JPY	145.29	-0.47
EUR/THB	38.51	0.02
EUR/USD	1.0972	-0.0001
USD/CNH	7.175	-0.008
SGD/THB	26.37	0.03
AUD/THB	23.47	-0.03
USD/INR	83.03	0.00
USD Index	102.29	-0.07

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.396	0.000
10Y (THB)	2.719	0.000
5Y (USD)	3.879	-0.095
10Y (USD)	3.966	-0.062

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,019.2	-8.6
WTI (Oil)	72.02	0.65
Copper	8,355.0	-15.5

Stock

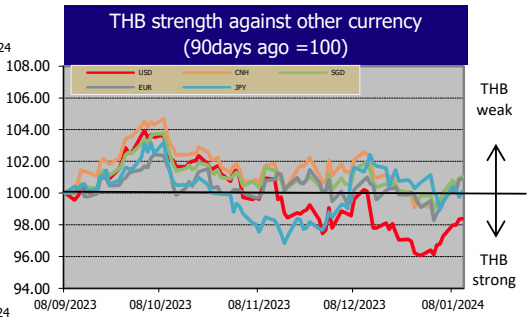
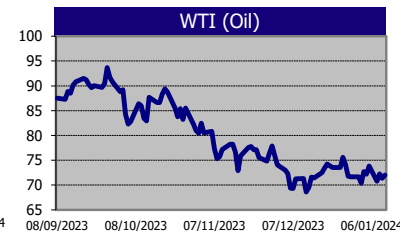
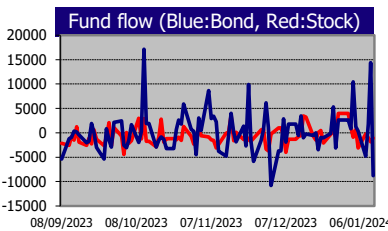
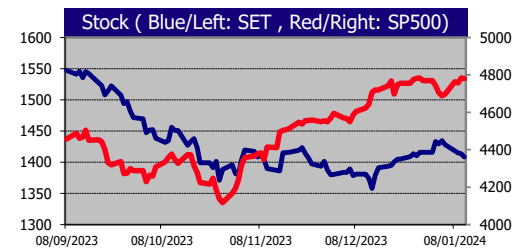
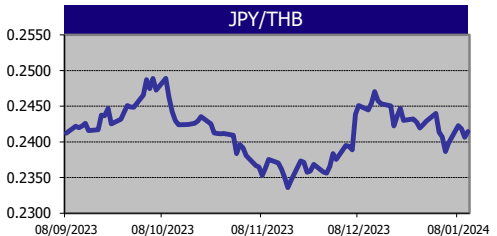
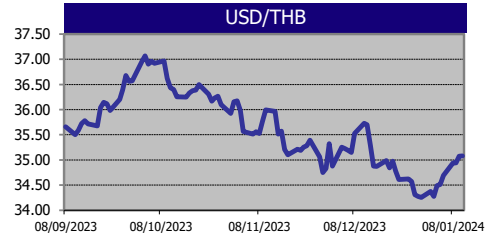
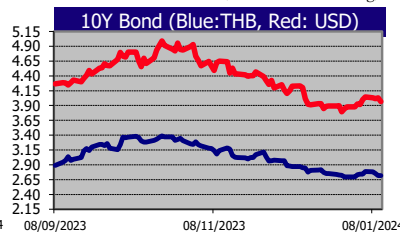
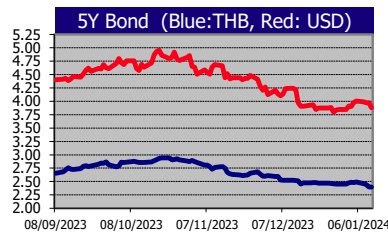
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,408.24	-5.28
NIKKEI (JP)	35,049.86	608.14
DOW (US)	37,711.02	15.29
S&P500 (US)	4,780.24	-3.21
SHCOMP (CN)	2,886.65	8.95
DAX(GER)	16,547.03	-142.78

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,066)	761.6
Bond net flow	(8,781)	-23141.9

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツはほぼ変わらず。35パーツ台前半で取引を開始すると、海外時間に米12月CPIの発表を控え小動き。35パーツを挟んだ推移が続いた。注目の米12月CPIは、ヘッドラインが前年比で+3.4%(市場予想: +3.2%)、前月比で+0.3%(市場予想: +0.2%)と市場予想を上回る結果に。ただ、市場の米利下げスタンス継続の思惑を変えるには至らなかったか、指標発表直後こそ米金利上昇・ドル買いで反応したものの、一服後は反転。ドルパーツも上に結局住ってこいの展開となり、35.08レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は小幅に下落。145円台半ば付近で取引を開始。日銀より1月の地域経済報告(さくらリポート)が公表されるも、為替相場に与える影響は限定的となり、米12月CPIの発表を控える中、145円半ばから前半にかけて方向感に欠ける推移が続いた。海外時間、堅調な米12月CPIの結果に一時146円台半ば付近まで急上昇を見せたものの、ドル買いは長続きせず、終盤にかけて指標発表前の水準まで戻し、そのまま145.29レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日の強い米12月CPIを受けてもドル買いが続かなかったことは、年始から見られた急速な米利下げ織り込みの調整が一旦落ち着いたことを示唆している。ここ数日のドルパーツ相場についても35パーツちょうど近辺(34パーツ台後半から35パーツ台前半)で比較的落ち着いた推移が見られている。ただ、タイ国内の要因については依然不透明感が強い状況が続いている。急遽設定された来週15日(月)のタイ中銀による政策説明会については、現状の金融政策についての説明に留まり、セーター・タイ首相が検討を要請した利下げについてはそのスタンスは示されない、というのが市場のコンセンサスとなっているように見受けられるが、その内容については(その後のセーター首相の反応も含め)警戒が必要であろう。また、今年5月の実施が予定されているデジタル通貨給付政策について、その規模を2000-3000億パーツに縮小し(足もと予定:5000億パーツ)、実施時期についても10月以降となる可能性を指摘する報道も見られ始めている。係る状況下、タイ国内の国内要因に対する感応度の高まりが見られる足もとのドルパーツ相場を窺う上では、まだ緊張感には保ち続けておきたいところである。(末廣)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.